

第10回強制動員真相究明全国研究集会

「強制連行・強制労働をどう伝えるか？」

< 基調講演 >

「強制連行問題と朝鮮植民地支配」

京都大学名誉教授 水野直樹さん

< 特別報告 >

「長野県へ来た農耕勤務隊～強制動員された朝鮮半島出身の「日本兵」～」

長野県強制労働調査ネットワーク共同世話人 原英章さん

第2部「強制連行をどう伝えるか？」

強制連行を伝える取り組みについての交流・議論

第3部「世界遺産問題を考える」

「明治産業革命遺産」に登録された資産のある地域の取組みの紹介や今後の方針について討議

日 時 2017年3月25日(土)13:30～17:30

場 所 あがたの森文化会館講堂（松本市）

参加費 1000円 （一般 1000円 学生 500円）

< フィールドワーク > 里山辺地下軍事工場跡

松本市山辺地区の金華山(864メートル)の地下や周辺、さらに少し南の中山地区の山際には太平洋戦争末期、地下工場や半地下工場が数多く造られた。いずれも陸軍航空本部の指示で、昭和20(1945)年4月から工事が始められた。このうち、地下工場で唯一入り口を残すのが里山辺地下軍事工場跡。ここで、多くの朝鮮人らが危険で過酷な労働を強いられた。

主 催 長野県強制労働調査ネットワーク
松本強制労働調査団
強制動員真相究明ネットワーク

(連絡先)〒657-0064 神戸市灘区山田町 3-1-1 (財)神戸学生青年センター内

ホームページ: <http://www.ksyc.jp/sinsou-net/> mail mitsunobu100@hotmail.com 携帯 090-8482-9725